

平成 30 年度 生命融合科学教育部シンポジウム

神経科学が解き明かす 動物の行動 ：機能の変容と疾患



2019 年 1 月 11 日 (金) 13:00~17:45

日医工オーデトリウム 富山大学 杉谷キャンパス

問合わせ先：富山大学 医薬系事務部医薬系総務課

〒930-0194 富山市杉谷 2630 TEL: 076-434-7007

【プログラム】

- 13:00~13:10 開会挨拶 豊岡 尚樹 富山大学 大学院生命融合科学教育部長
【座長：吉田知之】
- 13:10~13:45 右利き・左利きの発現メカニズム
竹内 勇一 富山大学 大学院医学薬学研究部(医学)解剖学講座 助教
- 13:45~14:20 光で記憶を見る・操作する
大川 宜昭 富山大学 大学院医学薬学研究部(医学)生化学講座 講師
- 14:20~14:35 休憩
- 【座長：西丸広史】
- 14:35~15:20 恐怖記憶とその抑制を制御するカテコールアミン神経系の役割
植松 朗 理化学研究所 脳神経科学研究センター
学習・記憶神経回路研究チーム 研究員
- 15:20~16:05 睡眠覚醒調節と記憶の制御に関わる神経の活動記録と操作
山中 章弘 名古屋大学 環境医学研究所 ストレス受容応答研究部門 教授
- 16:05~16:20 休憩
- 【座長：新田淳美】
- 16:20~16:55 遺伝子改変マウスの行動解析を起点とした精神疾患研究
—行動生理学というアプローチ—
高雄 啓三 富山大学 研究推進機構 研究推進総合支援センター
大学院医学薬学研究部(医学)行動生理学講座 教授
- 16:55~17:40 うつ病の神経炎症仮説における神経回路の役割
相澤 秀紀 広島大学 大学院医歯薬保健学研究科(医)神経生物学講座 教授
- 17:40~17:45 閉会挨拶 一條 裕之 富山大学 大学院生命融合科学教育部 教授

主催：富山大学 大学院生命融合科学教育部 <http://www.ils.u-toyama.ac.jp>